

# 新

宿の、越年越冬～あれから29年目の冬

笠井和明

古い「寄せ場」の山谷から、「越年越冬広域パトロール」で回り歩き、野宿者問題の深刻さが消化がなされぬまま、まもなく強行された東京都による「強制排除」（1994年2月17日）と、それとのたたかいは始まった1993-1994年の冬（バブル崩壊期）から早、29年目の新宿の冬である。

1980年新宿駅西口の「バス放火事件」を契機に、「浮浪者狩り」「環境浄化」と銘打った警官同行パトロールが、年末となると頻繁に行われていた。「保護」と言いながら、実はそれは名目だけで、実際は、ただ追い出し、追いまわすだけのパトロールであった。木枯らしが吹く都会の冬、救世軍の「社会鍋」の侘びしい鐘が街中に流れる頃、クリスマスの鐘が鳴り好景気に浮かれた一般の人々が、うきうきと家路を急ぐ中、その裏では、せせせと「浮浪者狩り」。こう云うふざけた社会の構図は、別の階層からの新たな「犯罪」や「事件」を引き起こすだけであったが、野宿者の新宿の地（新宿駅西口地下の4号街路を中心にした）での増大が、その流れをとたんに変えて行ってしまった。追い出しても次々と来るのであるから排除する側も埒が明かない。そして、その頃、私たちは新宿の地に流れついた。

私たちは行政の「浮浪者狩り」ではなく、野宿労働者を中心にした、「追い出し」でもなく「救済」でもない、仲間が仲間を支える「人民パトロール」を対峙し、仲間を組織し、冬場で凍死者が続出していた新宿地に「仲間の力で仲間を守ろう」と、活動家なり、当事者による有志の活動が開始された。それが、そこから続く、私たち新宿連絡会の始まりでもあった。

そんなことを思い出すのは、未曾有のパンデミック

と、その影響が収まりかけた頃、放火されたバスと同じ「京王帝都電鉄」の、今度は電車の中で、とある青年が面識もない人々へ「傷害」を加え、車内に「放火」をした世間を騒がせる大事件が、あったからか。

燃え盛る電車の火の映像を見ていると、あの時の「火」と、そして、その後に起こる幾多の「火」と、何が違うのであろうか？変わらぬこの世と、この街に、どこか、どんよりとした気分になる。

希望の「聖火」は華々しくリレーされるが、絶望の「火」は、傷が癒えたと思う頃、再びやってくる。



その頃に知りあった一人の沖縄出身の仲間が、先日「自死」した。

「おかげさまで人が死にました！」とサラリーマンばかりが行き交う通路の中で彼は一人で叫び、叫び、仲間が冷たく横たわる段ボールハウスに泣き崩れていた。

若い当時の彼は、生き抜く術を知らなかった。が、自分の感情のなすまま語ることに、そして転がりながら生き、人知れず野たれ死ぬこと、それが普通なのだと云うことを、路上に流れ着き、新宿のどん底生活の中、始めて知ったのだろう。

最近も歌舞伎町の広場で酔いつぶれていたり、殴られていたり、そんなことを繰り返して、金がなくなればなければの物を売りに、連絡会の事務所にもちょくちょく顔を出していた。別に人様に好かれようとも思わない、機嫌も取らない、嫌われたり、邪険にされることが、自らの誇りのような、そんな無頼な男だった。それでも、彼なりにしっかり生きて来たと思うのだから、人生のピリオドは、権力の手でもなく、他人の手でもなく、自らの手で打つことが潔いとも思ったのであろうか。やたらと他者を刺激し、世間を挑発し続け、その揚げ句、自分だけがあっけなくである。彼らしい終わり方ではあるが、何とも切なく、そして、寂しい。

いずれ地獄で会えるだろうから、改心などせず、神にひれ伏すことなく、同化されることもなく、ただひたすらそこで待っていておくれ。

「ジミー」よ……。



\*\*\*\*

冬である。同じことの繰り返しでも、毎年、実は真面目に考えている。

今年の冬の動向は？そして、どうしたら路上の命が守れるのか？を。

ホームレスと云う、社会からする特異な存在は、何につけ「劇場型」でなければならぬような今日、何かの象徴になってみたり、政治の道具になってみたり、「貧困」だ、「貧困」だと、センセーショナルな取材のネタになってみたり、何かと表ではあれよこれよと言われてしまうのであるが、その実、その内側にいけば、ちょっと不器用な人々が多いのではあるが、それも含めて、まあ、実に普通の人々である。普通の人はホームレスなどにならないと云う向きもあるだろうが、いやいや、普通の人だからこそ、ホームレスになっても、多少の困難などには負けず、そのまま生きていけたりもするのである。

「自立」、「自立」、とせかしてみても、<sup>よわい</sup> 齢五拾を過ぎたら、夢も希望も欲も、へったくれもありゃしない。確たる生きる標もなく、守るべきものは自分の身以外はない。かと言って死ぬ気力もなく、大きな変化を求めず、まあ、そこそこ普通に生きていければ良いとするのは、ホームレスでなくても同じである。

まあ、それでも冬はちょっと厳しい。寒いと云っても凍えるほどではなく、隠れる場所、紛れ込む場所が多くある新宿は路上の人々にとっては恰好の場所ではある。

なので、新宿に多くの路上の仲間が居る。それだけと言ってしまえばそれだけである。あとは何とか、この冬將軍と闘い、仲間と共に生き残ること。

新宿駅を中心とする路上の人々の数は「コロナ渦」の中でも年々減ってはいる。こちとら29年も定点観測をしているのであるから、路上の人々の実態と数とニーズについては下手な「専門家」や「社会学者」よりは詳しい。それを、増えた増えたと宣伝して、何かを煽ろうとする輩がいるから、この世界は面倒臭い。「フェイク」情報に躍らされたりもする、非常に脆弱な社会であるから尚更でもある。

それはともかく概数であれば160~170名前後、新宿駅周辺や区内の野宿者集住地を合わせるとそこで寝ている人は確認できる。コロナ規制の中で「夜の街」を行き交う人々の列が一時期ぐっと減ったが、そんな街の動きとは連動せず、底辺でしっかりとその数を守り続けている。それでも大きくは減らないが、亡くなってしまう「自然減」のようなものもあり、また救急車で運ばれる

こともあり、「生活保護手配師」（だいたい埼玉や千葉へ）に連れられて行くケースがあり、自ら福祉事務所に行くこともありと、減る要素と云うのは、住込み仕事以外に多くあるのであるが、毎年微減のままである。これは東京都が実施している概数調査の動向とほぼ同じである。

もちろんゴールなど見えはしない。ホームレスが零になるなることは、誰も期待していない。東京都も新宿区も、じょじょに減って行けば良いとしているので、そうそう大きな数的な変化は現れない。

物事はそれ以上「手」がなければ固定化する。「寄せ場」が残ってしまった大都市には、路上生活者もまた残る。それで良いのかも知れないが、「不法占拠万歳」「都市雑業万歳」は、そんなところで落ち着くのか、落ち着かないのか。まあ、何とでも評価すれば良いが、残った人々で冬を越え、何とか頑張ろうやと云う取り組みは、形は変われど、何となく続いていくのであろう。

新型コロナウイルスの関係で、「炊き出し」と呼ばれている「食事提供慈善活動」は、その場で作ることは少なくなり、どこも弁当などの配布に変わったようである。もちろん食い物は生きる上で尤も大事なので、色々な手を変え、品を変えて、宗教の人々も個人の方々も考え、対応しているようである。一時期はホームレスのために炊き出しをしたいんです、なんて云う学生さんからの相談が結構あったが、今はそんな話はとんとなく、ホームレスさんのために何を手渡したら良いのですかと、サンタクローズ型の支援、ボランティアをしたい人が増えているようである。

今は「炊き出し」をしてもそうは多くの人は集まらないようである。食事提供の機会が増え、分散をしていることや、食に対するニーズと云うのも多様化している、何でも食べられれば良いやと言う程、困窮はしていない。「炊き出し」が毎日3食あるわけではなく、それが無い時でも、教会なり、寺なり、福祉なり、支援団体なり、どこかへ行けば食いつなぐことは出来る。そこの状況はだいぶ変わった。

しかし、冬場は冷たい弁当よりも炊き出しの暖かい飯であろう。暖かさが人の心を和ませる絶対のものでもある。毛布やら防寒着やら、身体を暖めるアルコール類の提供やらはニーズに応じて来たのであるが、食事に関しては場所の問題、衛生の問題もあるので、あまり応えきれていなかったの

かも知れない。

なので、今年の年末年始は「暖かい炊き出し」を毎日出すと云うことにした。オリンピックも終わったことだし、コロナも大きな山を越えたみたいだし、何だかんだと少ない面々で前の通り、あまり目立たず、忘れられた頃、ひっそりとやるのも連絡会ならではである。

このように、私たちは、毎年「冬」を真面目に考えているが、その実、深刻には考えていない。前々から言っているが、今どきは年末年始だから人々が困るわけではない。年末に借金の取り立て屋が来て、住む場所を失ってなんて、都合よく、ステレオタイプのよう、人々が路上に転がりこむわけではない。

時代は、良くなったのか悪くなったのかはともかく変わった。それと同時に貧困の在り方も、地域の在り方も、救済の在り方や質も、また変わった。その変化をしっかりと考えたいものである。

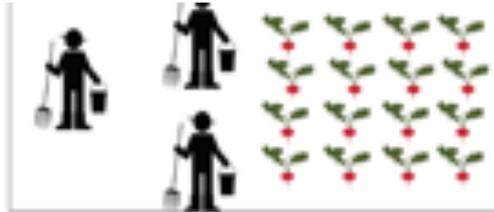
流れ、流れ着いた新宿から、木枯らし吹く路上から、俺ら底辺の民は、どれだけの仲間が居て、そして、仲間と共にどこを目指し、生きれば良いのか。

越年越冬は、そんな「問い」への答えを見つける、永遠の試みなのかも知れない。

まあ、そんなわけで、俺らは、命尽きるまで、新宿の底辺の地で、場末の地で、路上から、「春」を見いだせればと思うのである。

(了)





農家との交流事業

高田馬場 関ビル NPO新宿+新

一時宿泊  
シェルター  
食事

簡易相談

餅つき大会  
12/29  
PM1時

新宿中央公園12/30-1/3 新宿連將會の越冬行動  
雨天 都庁下

炊出し PM6時

衣類毛布提供 PM4時30分

12/31 越冬祭り PM6時~

簡易相談

医療相談



2021~2022

新宿越冬の取



年末 新宿駅等に流れ着いた路上生活者、！

暖かい飯を。俺たちは一人じゃない

会の日常活動

鍼灸相談会



ワー






























衣類毛布提供



必要であれば自立支援や福祉など公助を

新宿福祉事務所 + 「とまりぎ」にて相談






To the next step






組み

新宿駅/公園、路上 新宿連絡会の日常活動






巡回相談




衣類毛布提供



毛布パトロール

おにぎりパトロール



医療パトロール




情報提供チラシ




高齢の仲間、病弱の仲間を支え合おう

者

# 新

宿区による、住所のない仲間へのワクチン接種会が開催されました。



11月2日と30日、新宿区による住まいがない方を対象にした「新型コロナウイルスワクチン接種会」が開催されました。2日の初日は新宿保健所による結核検診や健康相談会も同時に実施され、外国籍の方も含め多くの仲間が参加しました。ワクチンは80名の方が接種を済ませました。

このNEWSの前号にて「新型コロナウイルスワクチン」に対する当事者の「ニーズ」聞き取り報告がありましたが、新宿では当事者の約半数が接種希望であり、何らかの住所を有し、「接種券」を取得している仲間は良いが、住所が不明、そして身分証明書がないと、希望したとしてもなかなか手続きが難しい。

それをもうちょっと敷居を低くしてもらい、集まった

らみんなで打てるようにしてもらいたいとの要請を連絡会は続けていましたが、ようやくそれが実になり、まずは一安心。

接種会に先立ち、連絡会は十八番の「宣伝部隊」として活躍。新宿区内のあちこちに出発し、「俺らも簡単にワクチンが打てるようになったぞ」と宣伝しまくりました。流行がだ

いぶ取り、ひとときの危機感はいぶ薄れていたのと、希望者はあの手この手を使って既に接種済みであったりもしましたが、それでも「まだ」の仲間は「安心」をもらいに接種会場に足を伸ばしました。

新宿区

お住まいがない方へ

新型コロナウイルス  
**ワクチン接種のお知らせ**

(無料 ※お金はかかりません)

お住まいがない(住民票がない方、わからない方)へ  
**ワクチン接種を実施します!**

【1回目】2021年11月2日(火)  
【2回目】2021年11月30日(火)

※両日とも9時30分から16時まで  
※ワクチンは4週間程度の間隔で2回接種します

~ワクチン接種には事前に予約が必要です~  
予約場所: 新宿区福祉部生活福祉課生活支援係

**ワクチン接種について**

- ワクチンは、発症を予防し重症者や死亡者の発生をできる限り減らすことを目的としています。
- ワクチン接種は強制ではありませんが、新型コロナウイルス感染症を予防するため、接種にご協力をお願いします。
- ワクチン接種後に腕の痛み、だるさ、発熱などが発生する可能性があります。多くは数日で治ります。
- ワクチン接種後もマスクの着用など、感染予防対策をお願いします。

裏面をご覧ください

## 訂正

連絡会NEWS NO81号4頁「歯磨き…」の記事中、「2004年には炊出しから」は「2014年には」の間違いでした。お詫びして訂正します。

# 追

悼の催しは出来ませんでした。祭壇を作りました。



今年のお盆は、オリンピックの期間中でしたが、「緊急事態宣言」中。外出自粛であるが、そんなことは関係なく仏さんはお盆には帰ってくる。追悼の催しは昨年に続いて三々五々となったが、また連絡会の事務所に路上で亡くなったり、連絡会に縁のある仲間の祭壇を作り、銘々で線香を手向け、酒を飲み交わすと、そんなことをやりました。戻って来た仏さんは、世の変わりようにびっくりなさったでしょうが、まあ、「それも人の世、色んなことがあるもんさ」と言ったとか言わないとか。

まあ、写真ごしに懐かしいお顔を拝めて何とも静かで穏やかなお盆を過しました。

**おにぎり巡回パトロール7-10月実績**

		都庁	西	公園	東	小計		周辺部	戸山地区	合計	
						(前年同月比)				(前年同月比)	
2021	7月4日	54	17	16	48	135					
	7月11日	48	20	17	50	135					
	7月18日	66	21	15	56	158					
	7月25日	65	17	17	46	145					
	7月平均	58.3	18.8	16.3	50.0	143 (▲24)	10	11	164 (▲27)		
	8月1日	69	20	18	61	168					
	8月8日	61	25	18	52	156					
	8月15日	70	19	16	64	169					
	8月22日	58	12	17	64	151					
	8月29日	60	16	17	51	144					
	8月平均	63.6	18.4	17.2	58.4	158 (▲12)	9	10	177 (▲15)		
	9月5日	69	15	18	51	153					
	9月12日	83	19	12	50	164					
	9月19日	64	21	14	60	159					
	9月26日	65	19	15	54	153					
	9月平均	70.3	18.5	16.0	53.8	157 (▲10)	9	11	177 (▲15)		
	10月3日	69	16	16	52	153					
	10月10日	63	14	15	61	153					
	10月17日	61	13	17	48	139					
	10月24日	63	19	17	54	153					
10月31日	68	12	15	70	165						
10月平均	64.8	14.8	16.0	57.0	153 (▲14)	8	10	171 (▲22)			
									4ヶ月平均	172(▲20)	

私たちのパトロールは、「巡回相談」であるとか和訳されることが多いが、実はパトロールにも色々あって、「おにぎり」とか「パン」や、携帯できるカロリーメイトやお菓子の詰め合わせやら、そんな補助食料を持参して広範囲に配ったり、冬場は毛布やら携帯カイロやらを持参したり、暖かい飲み物をポットに入れて持って行ったり、毎週発行のチラシを持って「情報」を手渡したり、夜中、皆が寝静まった頃、カウンターをカチカチさせるのもパトロールだし、もちろん、常備薬を渡したり、医療従事者のボランティアが一緒の時の健康優先のパトロールもある。

まあ、「巡回相談」と言っても、路上での相談なんてのはいずれも簡易にしか出来ず、「お喋り」が中心であるが、何やかんやと、挨拶をしまわったり、世情を語り合うのも、またパトロールである。

ぶらぶらと新宿の街を見回ったり、街歩きをするのもパトロールである。新宿の野宿のおっちゃん達はどこに居るの

か、その居場所を転々とする。かつて居た処には居らず、新たな場所を発掘することもある。そう云う情報は、もちろん本人達は積極的に発しはしない。安全で、比較的快適な寝場所は同じ仲間にも隠しておくのが当然である。それを見つけ、安否確認をするためには、とにかく街の色々なところを歩く。公衆トイレの近く、屋根のある場所、人目のつかない場所、そんな場所は新宿でも意外とまだまだある。そこに誰も居なくても、居ないことを確認するために歩く。

「人民パトロール」「労働者パトロール」なんて、その昔言っていたが、その主体は今も当事者が中心である。その当事者も高齢化したり、福祉を受けたりとだんだん少数にはなっているが、やはり同じ立場であった者の方が機微に富んでいる。まあ、歩くことなので一人でも出来る。臨時のパトやら、人捜しのパトは、だいたい一人である。

この冬場も「寒い」「寒い」と云いながら、新宿の街をふらふらしているであろう。

**深夜巡回パトロール7-10月実績**

日時	天候	4号街路	都庁	公園周辺	西口地下	西口地上	御苑	東	大ガード	新南口	深夜計
7/11-12深夜	曇	22	24	6	61	19	5	0	3	23	163
7/18-19深夜	晴	22	23	6	50	27	5	0	10	25	168
8/8-9深夜	晴	19	25	6	48	24	4	0	6	19	151
8/22-23深夜	晴	18	26	6	43	31	3	0	6	30	163
9/12-13深夜	曇	18	25	6	44	26	2	0	7	32	160
9/26-27深夜	晴	18	31	6	54	21	2	0	3	19	154
10/10-11深夜	晴	17	26	6	53	15	2	0	3	20	142
10/24-25深夜	晴	17	26	6	60	17	2	0	3	21	152

2021～2022 暖かい飯と団結を

# 新宿越年越冬

2021年12月26日(日)～2022年1月4日(火)

12月26日(日)	おにぎり&毛布配布パトロール	午後4時半	(都庁下集合)
12月27日(月)	福祉行動	午前9時より	(新宿福祉事務所)
12月29日(水)	餅つき大会	午後1時より	(高田馬場関ビル前)
	炊出し、餅配布、お神酒提供		
12月30日(木)	炊出し 衣類配布	パトロール	
12月31日(金)	年越し祭り	午後6時より	(新宿中央公園)
	炊出し、年越しそば、お神酒、演劇、コンサートなど		
1月1日(土)	炊出し 衣類配布	パトロール	午後4時半より(新宿中央公園)
1月2日(日)	炊出し 衣類配布	パトロール	午後4時半より(新宿中央公園)
1月3日(月)	炊出し 衣類配布	パトロール	午後4時半より(新宿中央公園)
1月4日(火)	ta福祉行動	午前9時より	(新宿福祉事務所)

新宿連絡会 090-3818-3450

## 新宿連絡会 会計報告

この間も、衣類など多くの物資、また現金での活動カンパ、誠にありがとうございました。

物資は提供日に、必要な方々にお渡ししています。また現金も事務所維持費等日常活動を支える拠点作りや、寄付物資では賄えないものの購入などに使用させて頂いています。

冬季は、私たちの活動の本番でもあり、日常活動に加え、テント等のリース料、大型車両レンタル料や、炊出しの材料費など多く経費がかかります。また、物資も倉庫保管をしながら、計画的に提供していきます。引き続きの支援のご協力、毎年のごことで心苦しいのですが、宜しくお願い致します。

## 2021年度 7月～10月新宿連絡会収支報

勘定科目	金額	勘定科目	金額
I 計上収入の部		消耗品費	31,464
1 寄付金収入	427,260	事務用品費	21,334
		事務所費分担金	120,000
計上収入合計	427,260	衛生管理費	1,100
		支払手数料	12,081
II 計上支出の部		車両費	27,550
1 事業費		修繕費	0
弁当おにぎり事業	86,3243	計上支出合計	494,834
越年越冬事業	0	計上収支差額	▲67,574
その他活動事業	136,488	前期収支差額	170,365
2 管理費		次期繰越金	102,791
旅費交通費	2,260		
通信費	56,233		

●活動カンパ 振込は 郵便振替口座00160-6-190947「新宿連絡会」まで。

●郵便物、物資カンパの送付先は以下の住所にお願いします

★郵便物は

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場2-6-10関ビル106号 新宿連絡会 宛てでお願いします。